

須佐神社で「節分祭」

2月3日の節分の日、佐田町の須佐神社で「節分祭」が行われ、境内を埋め尽くすおよそ3,000人も
の参拝者が「福」を求めて訪れました。

この祭事のために組まれた特設やぐらや神楽殿から、宮司をはじめ関係者や地元保育所の年長児によって、福豆や福もちの入った小袋がまかれました。参拝者は、家内安全や五穀豊穡を願いながら手を伸ばして小袋を取り合い、それぞれの家庭に「福」を持ち帰りました。



出雲縁結び空港 名古屋線利用者10万人達成!

平成27年3月に運航開始したFDA出雲=名古屋（小牧）線の利用者数が10万人を突破し、2月6日に記念セレモニーが開かれました。

名古屋線の利用は好調で、昨年7月から1日2往復に増便して運航されており、今年1月末までの平均搭乗率は70.6%と、目標としていた65%を上回っています。

セレモニー当日は、到着ロビーで多くの関係者や報道陣が待ち構える中、記念すべき10万人目となった愛知県一宮市の勢力菜さん（写真中央）と高橋真理奈さん（写真右）に記念品が贈られました。2人は「10万人目と聞いてびっくりした。知り合いから島根は良いところだと聞いている。出雲大社などをゆっくり旅したい。」と話していました。

原子力安全協定を締結

2月10日、島根原子力発電所から30km圏内にある出雲市、安来市、雲南市の3市と中国電力株式会社は「島根原子力発電所に係る出雲市民、安来市民及び雲南市民の安全確保等に関する協定」を締結しました。

出雲市は平成23年に先行して安全協定を結んでいましたが、このたびの協定で、中国電力に対して意見が言えること、中国電力は誠意をもって対応することを明文化するなど、従来の仕組みを強化する内容を盛り込むことができました。

しかし、事前了解を含む立地自治体と同様の安全協定の実現に至ってならず、引き続き権限強化に向けて取り組んでいきます。



成果品の前で企業や大学関係者が情報交換

「やさしい医工連携」成果発表・拡大交流会開催

2月25日、大社文化プレイスうらら館で、島根大学との共催により、「やさしい医工連携」の取組拡大をめざす交流会を開催しました。講演、シンポジウムでは大学、附属病院、企業の関係者が、製品開発にける「思い」を伝え、名刺交換会では積極的な情報交換が行われました。

地場企業の「技術」と大学の「知」が連携して、「出雲」発の看護・介護現場で喜ばれる製品づくりを進める「やさしい医工連携」は、ひとに優しく、地場企業も参画しやすい「やさしい」取組です。市は、大学と企業との「産業の縁結び」を進めています。

		前月比
人口	174,872人	(-22)
男性	84,704人	(-1)
女性	90,168人	(-21)
世帯数	63,731世帯	(+7)

[平成29年2月28日現在]

4月の市税・保険料の納期限

介護保険料（第1期）の納期限は

5月1日（月）です。 期限までに忘れずに納めましょう。